

偉大なる先輩 — 橋本清春氏の回想録  
第 8 回 江工会関東支部の設立に関して

偉大なる先輩 — 橋本清春氏の回想録

第 8 回 江工会関東支部の設立に関して

橋本先輩と江工会関東支部との関係：

橋本先輩の記述から直接引用します。

卒業後、仕事の縁で知り合った同窓生数人で集まるようになり、  
「霞ヶ関ビル」の見学会として 20 名ぐらいの集まりを持ったことにより、現在の江工会関東支部へと繋がった

現在、江工会関東支部の最年長会員である。

以上ですが、江工会関東支部の「由来」に関しては、  
別途「江工会関東支部のホームページ」をご覧ください。

<http://gokokai-kanto.jimdo.com/関東支部総会/関東支部の由来/>

ホームページのコピー（一部）です。

江工会関東支部は、記録としては昭和 54 年 11 月 23 日、  
「関東地方支部会」として総会が、小石川後樂園「かん徳亭」で  
開催された。

会長山本俊彦（木工 16）、副会長：安田光勝（建築 26）、  
顧問：橋本清春（建築 16）、事務局幹事：島田和司（建築 22）、  
原田光政（建築 32）の構成であった。

しかし、総会はこの時期に前後して数回開かれてから自然消滅の  
形となった。

偉大なる先輩 — 橋本清春氏の回想録  
第8回 江工会関東支部の設立に関して

開校60周年を翌年に控えた平成5年10月、  
「昭和32年卒の同期会」、  
原田光政（建築32）、笠井二三夫（化学32）、  
が中核となり支部活動の準備を開始した。

平成6年1月13日、熱海において  
「新年会とゴルフコンペ」を計画したところ、  
関東地区在住の江工会の有志（40代から60代）が  
20名参加し、盛大な懇親会を持つことが出来た。

平成6年現在、関東地区在住の江工会の会員数は、  
全国会員数の一割に当たる1,000名近い、建築卒272名、  
木工卒59名、機械卒315名、化学卒148名、電気卒206名  
の内訳となる。

年齢構成では40代から50代の社会人ベテラン層が6割以上を  
占めていた。

そこで、新たなる幹事の選出は32年卒を先頭に、  
2-3年の年齢差を設けると共に、卒業学科を横断する構成とし、  
各幹事の会員への働きかけが横広がりとなり、  
会員全体に投網を掛けられるよう総勢14名とした。

幹事候補全員の快い承諾を得、  
平成6年3月4日幹事会の初会合を開いた。

以下省略。

今回は以上です。

つづき。